

令和元年第7回市議会定例会が開催されるに当たり、市政に対する所信の一端を申し述べますとともに、市政の諸課題をはじめ提案いたしました議案について、その概要を御説明申し上げます。

まず初めに、去る9月5日に公表された令和2年度の政府概算要求は、一般会計の総額が104兆9,998億円となり、今年度の102兆7,658億円を上回る過去最大規模となっております。高齢化を背景とした医療や介護、年金などの社会保障費が増加し、政策拡充の範囲が限られる中、政府の成長戦略に掲げる地方施策の強化に積極的に取り組まれることを期待するところです。

また、本市におきましては、来年度予算編成に当たり、財政の健全性を維持しつつ、目標年次を迎える敦賀市再興プランの達成に向け、全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様をはじめ議員各位の御理解をお願い申し上げます。

さて、今年も残すところ1か月余りとなりました。

振り返りますと、今年度は日本各地で自然災害の際立った年でありました。

本市では幸いにも大きな災害は発生しておりませんが、近年の大規模かつ広範囲に被害が及ぶ気象災害に鑑みますと、災害に対する意識と平時か

らの備えは不可欠であります。

今後も市民の皆様のお安全安心を第一に、災害対策に万全を期してまいりますので、市民の皆様におかれましても、気象情報等に十分留意していただき、まず「自分の身は自分で守る」という「自助」を基本として、災害に際しどのような行動をとるかなど日頃からの備えに取り組んでいただきますようお願いいたします。

次に、当面する市政の重要課題について申し上げます。

まず、市庁舎整備について申し上げます。

新庁舎整備に係る建築工事の発注につきましては、先月28日に3回目の入札公告を行っており、今議会中に契約締結に係る議案を提出できるよう対応しているところです。

全体の進捗状況につきましては、地中熱交換井の掘削工事は進捗率66パーセントと概ね予定どおり工事が進捗しております。また、立体駐車場は今月末に完成予定であり、地中熱交換井の掘削工事が終了し、動線の安全性が確保された段階で来庁者用駐車場として、供用開始する予定であります。このほか、今年度中に予定をしていた電気・通信・給排水等の移設工事は、全て完了しております。

引き続き、市民の皆様をはじめ議員各位の御理解、御協力をお願いいたします。

次に、原子力行政について申し上げます。

去る9月27日に明らかとなった関西電力幹部らによる不適切な金品の受領につきましては、公益事業を担う企業のコンプライアンス上、大きな問題であり、原子力発電に対する国民の不信にも繋がるとともに、立地地域との信頼関係を損ねたことは極めて遺憾であります。現在、第三者委員会において、客観的かつ徹底的な調査が行われているところでありますが、関西電力においては事実関係を明らかにし、説明責任を果たしていただかなければなりません。

また、国においても責任のある対応が必要であることから、先月23日に開催した全原協の全体会議の場において、出席いただいた牧原経済産業副大臣をはじめ資源エネルギー庁の幹部の方々に対しまして、事実関係を確認し真相究明に取り組むことや再発防止の徹底について強く求めたところです。

もんじゅにつきましては、去る9月17日から燃料体を原子炉容器から取り出す作業が開始され、順調に作業が進んだ結果、予定していた100

体の取り出しを先月 11 日に完了しております。現在、次の作業となる炉外燃料貯蔵槽から燃料池への燃料体の移送開始に向けて必要となる機器の点検等が行われておりますが、国及び原子力機構においては、今後の作業に当たっても油断することなく、引き続き、安全最優先の意識を徹底していただくことを強く望むものであります。

次に、産業構造の複軸化及びエネルギーの多元化について申し上げます。

地場産業をはじめ民間部門の研究開発を支援し、新産業の創出等を促す産業間連携推進等事業につきましては、支援対象である各企業において順調に研究開発が進捗していると報告を受けているところです。

こうした研究開発を切れ目なく支援するため、同事業に係る補助金について、昨年度と同様に、今回の補正予算において債務負担行為を計上いたしました。

次に、東京オリンピック・パラリンピックを通じた交流事業について申し上げます。

来年度はポーランド孤児上陸 100 周年を迎えることから、東京オリンピックにおけるポーランド共和国のホストタウン登録を目指し、手続を行ってまいりましたところ、先月 31 日に本市がホストタウンとして登録さ

れることが決定しました。

この機会を生かし、新たな100年の友好に向け同国とのより一層の交流の深化を図ってまいります。

次に、中池見湿地について申し上げます。

中池見湿地の環境保全と利活用の推進に関する課題について、中池見湿地保全活用協議会において協議を重ねてきた内容を踏まえ、今議会に中池見人と自然のふれあいの里の設置及び管理に関する条例案を提出いたしました。

この条例案は、保全活用計画に沿って、中池見湿地における里山資源を一定のルールのもと市民が無償で活用できること、また、保全活用事業の財源としている中池見保全活用基金の減少を考慮し、持続可能な維持管理を実現するため、物販を可能とすることや冬季間の施設の休業を規定する内容などとしております。

この条例制定を契機に、協議会の会員をはじめ、多くの方々が中池見湿地の保全活用に自立して参加できるよう取り組んでまいります。

次に、交通安全対策、防犯対策について申し上げます。

今月23日に、プラザ萬象において「生命のメッセージ展」が開催され

ました。交通事故や犯罪等により亡くなられた方のパネルや遺品の展示を通じ、御来場いただいた皆様に命の尊さや他者の痛みを理解することが伝わったものと存じます。

市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちの実現に向け、今後も関係機関と連携を図りながら、交通事故や犯罪の防止に取り組んでまいります。

次に、介護保険事業について申し上げます。

平成29年度に策定しました第7期敦賀市介護保険事業計画に基づき、現在、介護保険給付の円滑な実施や地域包括ケアシステムの推進に向けて取組を進めているところです。

一方、次期計画となる令和3年度からの第8期計画につきましては、団塊の世代が75歳を迎える2025年、さらには団塊ジュニア世代が65歳以上となり高齢者人口がピークを迎える2040年を見据え、取組を進めるよう、国から方向性が示されたところです。

この方向性を踏まえ、第8期敦賀市介護保険事業計画の策定に向け、介護サービスの在り方の検討や地域課題の把握・分析のための調査に係る経費を今回の補正予算に計上いたしました。

次に、農業振興について申し上げます。

本市の水田農業は、圃場の大部分が中山間地域にあり、高齢化とともに農業者の作業負担が大きくなっています。

このため、本市において生産条件の不利な中山間地域における集落の水田営農の維持を図ることを目的に、地域の中核となる認定農業者を支援することとし、今回の補正予算に田植機の購入や精米設備の整備に係る経費を計上いたしました。

さて、本市の伝統野菜で100年以上の歴史ある杉箸アカカンバは、杉箸区の中山間地域で栽培されており、現在、収穫の最盛期を迎え、ボランティアや農福連携サポート事業との協働により、作業が進められています。

こうした中、地元生産組合が市内小中学校の給食に杉箸アカカンバを提供することとなりました。児童生徒が本市に根付く伝統野菜に関心を持ち、「地域の宝」として次世代へ引き継がれていくことを期待するとともに、本市といたしましても、伝統野菜の生産や販路拡大に対しまして引き続き支援を行ってまいります。

次に、中心市街地の活性化について申し上げます。

今月16日に開催された「けひさんアートマルシェ」に合わせて、観光

バスを神楽町1丁目商店街に停車していただく試験的な取組を実施したところ、観光客の皆様が名古屋・大阪方面からバス3台でお越しになり、神楽町1丁目商店街を散策した後、氣比神宮を参拝されました。

地元商店街では観光客の皆様を対象としたクーポンを発行するなど、おもてなしのための取組が行われました。

また、本町1丁目商店街振興組合が、景観まちづくり刷新支援事業を活用し、周囲の景観との調和を考慮したアーケードの修景を行うこととなり、この事業に係る補助金を今回の補正予算に計上いたしました。

今後も、地元の皆様をはじめとする関係機関と連携を図りながら、中心市街地の賑わい創出に取り組んでまいります。

次に、観光交流事業について申し上げます。

今月16日、17日の両日にわたり、敦賀港開港120周年を記念して、きらめきみなと館を会場に「観光物産inみなと敦賀2019」を開催いたしました。このイベントでは、本市の姉妹都市や友好都市等の特産品の出展、観光PRを実施し、県内外から3万6千人もの方々に御来場いただきました。また、開催初日の16日には、大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が敦賀港に寄港し、本イベントを乗船客の皆様のおもて

なしの場として活用させていただきました。

今後も、姉妹都市や友好都市等との交流を一層深めるとともに、相互連携を図ることにより、更なる誘客促進及び地元特産品の販路拡大に繋げてまいります。

人道の港関連事業について申し上げます。

先月14日から20日にかけて市議会議長とともに、敦賀市使節団としてアメリカを訪問いたしました。

ロサンゼルス、シカゴ、ニューヨークにおいて、各都市のユダヤ関係団体並びに杉原サバイバーの方々との面談や、ホロコースト関連博物館等を訪問し、新ムゼウム整備に関する協力依頼や「人道の港敦賀」の情報発信をはじめ、施設相互の連携について、有意義な意見交換を行いました。

特に、ニューヨークでは、ユダヤ系市議、杉原サバイバー関係者等約100名が出席するレセプションにおいて、人道の港敦賀に関するプレゼンテーションを実施する機会をいただき、多くの方々から新ムゼウムを是非訪問したいとの声をいただいたところです。

一方、今月9日にポーランド孤児に関する史実をメインテーマとしたシンポジウムを開催したところ、駐日ポーランド共和国大使館パヴェウ・ミ

レフスキー特命全権大使をはじめ、国内外から多くの御参加をいただきました。また、講師のヴィエスワフ・タイス氏と松本照男氏からは、孤児に関する写真や日記などの貴重な史料を多数寄贈いただいたところです。

こうした成果を最大限に活用しながら、心温まるエピソードに基づく「人道の港敦賀」を積極的に発信してまいります。

新ムゼウム整備事業について申し上げます。

新ムゼウムにつきましては、来年秋のリニューアルオープンを目指し、庁内プロジェクトチームを中心に準備を進めております。

今月6日には、第6回新ムゼウム利活用等検討委員会を開催し、オープンに向けた準備に早期着手するため、開館当初は運営方式を直営とすることを前提としつつ、将来の指定管理者制度への移行も含め、両方式による市民の利活用策、誘客促進策等について、引き続き議論を継続することを確認いただいたところです。

今後の検討委員会において、今年度内を目途に、運営の在り方に関する最終報告を取りまとめ、市民利活用策、誘客促進策等を盛り込んだ運営計画を策定してまいります。

敦賀港イルミネーション「ミライエ」について申し上げます。

「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会による敦賀港イルミネーション「ミライエ」が、今年も今月3日から来月25日まで金ヶ崎緑地にて開催されております。

昨年は、約5万6千人の方々に御来場いただき、好評を博したところです。6年目となる今年は、敦賀港開港120周年に合わせ、昨年から登場した芝生に広がる海をイメージした青色のLEDを1.5倍とし、昨年より5万個多い、約55万個を光源としております。また、「ミライエ」の文字が浮かび上がる新たなイルミネーションが加わるなど、更に規模を拡大して敦賀港を臨む金ヶ崎緑地を彩っております。

こうした取組が継続することで、敦賀の冬の風物詩として定着し、着実に成果を上げていることは、実行委員会の皆様の努力の賜物であり、敬意を表しますとともに、今後も「市民が主役」のまちづくりを積極的に支援してまいります。

次に、北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくりについて申し上げます。

今月10日にニューサンピア敦賀において、水嶋智国土交通省鉄道局長をお招きし「北陸新幹線と観光地域づくり」と題した講演会を開催いたしました。

全国の整備新幹線の状況や開業効果、観光戦略などの事例を詳細に御説明いただき、本市の将来像を思い描く上で、非常に有意義なものであったと存じます。

御多忙の中、御講演いただきました水嶋局長並びに御参加いただきました関係各位に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

新幹線開業に伴う社会基盤整備について申し上げます。

国道8号バイパスから新幹線駅前広場を繋ぐ主要地方道敦賀駅東線につきましては、現在、県が事業主体となり整備が進められており、木の芽川の両岸の橋梁下部工事が完成し、引き続き上部工事が行われております。

また、水道事業会計におきまして、新幹線駅及び車両基地への水道水の安定供給を図るため、新たに必要となる水道施設整備に係る工事費を今回の補正予算に計上いたしました。

令和4年度末の敦賀開業に向け着実に整備が進んでおり、本市といたしましても、関係機関と連携し事業を推進してまいります。

駅西地区土地活用について申し上げます。

同エリアでは、今年度末の全体レイアウトの決定に向けて、現在、民間開発事業者によるテナント誘致等の調整が進められております。また、知

育・啓発施設につきましても、同施設が市民の皆様にとって普段使いの拠点となるよう、幅広い世代の方々からの意見を取り入れるためのワークショップ等が指定管理者により行われております。

今後整備される公園・広場とともに、各機能の相乗効果が最大限に得られるよう、引き続き、官民一体となった整備に取り組んでまいります。

道路網の整備について申し上げます。

都市計画道路岡山松陵線は、未整備となっていた若葉交差点から栗野中学校南東側、県道敦賀美浜線との交差点までの区間が、来月14日に供用開始されることとなりました。

市民の念願であったこの道路の供用開始により、周辺道路の渋滞緩和、環状道路としてのネットワーク効果が発揮されるとともに、歩道整備による児童生徒の通学時の安全が確保されるものと考えております。

さらに、県において県道山楡林線とのミッシングリンクを解消する道路の整備につきましても、用地取得に向けた準備が進められているところであり、早期整備に向け、引き続き関係機関と連携を図りながら、取り組んでまいります。

除雪対策について申し上げます。

今月15日から除雪期間に入りました。気象庁は、この冬の降雪量について、平年並又は少ないと予測しておりますが、本市としましては、国、県との連携を密にしながら円滑な交通ネットワークの確保に取り組むとともに、歩道の除雪についても、通学路や公共施設周辺等の歩行空間の安全確保に取り組んでまいります。

なお、今年度も市の除雪機械購入補助事業により、除雪委託業者が10台の除雪機械を購入いたしました。今後も除雪体制の充実に努めてまいります。

市民の皆様におかれましては、除雪作業や交通の障害となる路上駐車の上り下りをはじめ、機械除雪後の御自宅前の除雪については各家庭で行っていただくなど、更なる御理解と御協力をお願いいたします。

次に、教育振興について申し上げます。

角鹿中学校区における小中一貫校「角鹿小中学校」の設置につきましては、今月15日の臨時会において校舎新築工事請負契約等の締結に係る議決をいただき、来月から敷地内工事に着手することとなりました。一方、新しい校舎のメインアリーナとなる角鹿中学校体育館の大規模改造工事につきましても先週完了し、新校舎に先駆けて供用を開始しております。

また、同校設置準備委員会では、制服・体操服等の方向性、通学方法の検討などが行われており、令和3年4月の開校に向けてハード、ソフト両面で着実に準備を進めているところです。

次に、スポーツ振興について申し上げます。

第38回敦賀マラソン大会を先月20日に開催いたしました。国体等の開催に伴う休止を経て、3年ぶりの開催となった今大会は絶好のマラソン日和に恵まれ、県内外から参加いただいた2,549人のランナーの皆様には、爽やかな秋空のもと、敦賀の街並みを駆け抜ける爽快感を存分に満喫していただけたものと感じております。

関係機関やコース周辺住民をはじめ市民の皆様の御理解と御協力により、大きな事故もなく無事に大会を終了することができましたことに、改めて感謝申し上げます。

次に文化振興について申し上げます。

史跡武田耕雲斎等墓の音声ガイダンス設備につきましては、旧松原公民館解体時に撤去しておりましたが、来訪される方からの要望が大きいことから、今般、墳墓及び水戸天狗党の歴史について説明するための音声ガイダンス設備を再整備することとし、所要額を今回の補正予算に計上いたし

ました。

また、練蔵を含む史跡周辺の整備につきましては、史跡武田耕雲斎等墓保存整備委員会の中で今後具体的に検討を行ってまいります。「地域の宝」を守り生かしていくため、関係者の方々の御意見や専門家の御指導をいただきながら、整備を進めてまいります。

次に、敦賀市立看護大学について申し上げます。

看護大学は平成26年度に開学し、第1期中期目標に掲げた高度な専門的知識と実践力を有する人材の育成に取り組み、地域医療を担う看護師の輩出など、地域の人々の健康増進と福祉向上に寄与してきました。

今年度末には開学から6年を経過し、第1期中期目標期間が終了することから、今議会において、看護大学の第2期中期目標を定める件について、地方独立行政法人法に基づき議案を提出いたしました。

本市といたしましては、今後も看護大学が、地域に根付き、住民に愛される大学となるよう、推薦入試の拡大や地域枠の設定等の検討を盛り込んだ第2期中期目標を定め、その実現のために必要な支援を行ってまいりたいと考えております。

さて、今回提出いたしました補正予算案につきましては、給与改定等に

よる人件費の調整を中心に早急に対応が必要なものについて補正を行うものです。

その結果、補正予算の規模は、

一般会計	4億 2,854万 8千円
特別会計	532万 2千円の減
企業会計	2億 5,087万 9千円
合計	6億 7,410万 5千円 となり、

補正後の予算総額は、

一般会計	320億 1,887万円
特別会計	145億 3,851万 7千円
企業会計	157億 6,975万 9千円
合計	623億 2,714万 6千円 となりました。

なお、これらに伴う歳入は、国、県支出金等確実に見込まれるものを計上し、収支の均衡を図りました。

また、予算案以外の案件及びその他の議案につきましては、それぞれ記載の理由に基づき提案いたしました。

次に、本市に寄せられました寄附金品につきましては、別紙お手元に配

布のとおりです。その御厚志に対し各位とともに、市民を代表して厚く御
礼を申し上げます。

以上、私の市政に対する所信の一端と今回提案いたしました予算案など
について御説明申し上げます。

何卒慎重に御審議をいただき、妥当なる議決を賜りますようお願い申し
上げます。